

豊小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「開拓魂」を学校理念（活動テーマ）として、ESDを「かかわり」と捉え、ESDの実践を通して「自分の考えをもち、互いに学び合う子の育成」を目標とした。
- ・①異学年交流（縦割り班活動）を通して、「人とのかかわり」に関する活動や校区に目を向け、②探検や見学を通して、「地域とのかかわり」に関する活動を行った。

・活動の実際

① 異学年交流（やまもも班活動）を通して、 「人とのかかわり」に関する活動 （全校児童）

本校では、「やまもも班活動」という縦割り班活動がある。異年齢集団での遊びや集会活動・行事を通して異学年と交流し、協力して活動することの楽しさや大切さを学んでいる。主な活動は、「やまもも班あそび（毎月1回昼休み時間に実施）」「やまもも読み聞かせ（高学年による読み聞かせ）」である。どの活動も6年生が中心となり、計画や進行を行っている。



②探検や見学、校区防災訓練を通して、「地域とのかかわり」に関わる活動

（2年生・3年生・4年生・全校児童）

本校では、2年生が町探検で校区のお店や会社を訪問し、そこで働く地域の人々の思いを知ることができた。3年生は地域の工場見学や会社見学を通して、本校区から商品やサービスが全国へ、そして世界へと広がっていることに気づき、地域の人々の努力について学んだ。4年生では、環境を守る会社の取り組みに触れ、校区の環境調査やゴミ拾い活動を行った。環境問題は、校区から世界、地球へとつながっていることがわかり、自分の生活を見直すことができた。

また、毎年11月に、自治会と共同で「校区防災訓練」を行っている。南海トラフ大地震に備えて、校区ごとに避難するところから訓練が始まる。「起震車体験」や「煙体験」、「避難所設営」や防災倉庫にある「資機材」の見学などを通して、「地域の一員としてできることは何か」と考えながら学習をすすめている。

